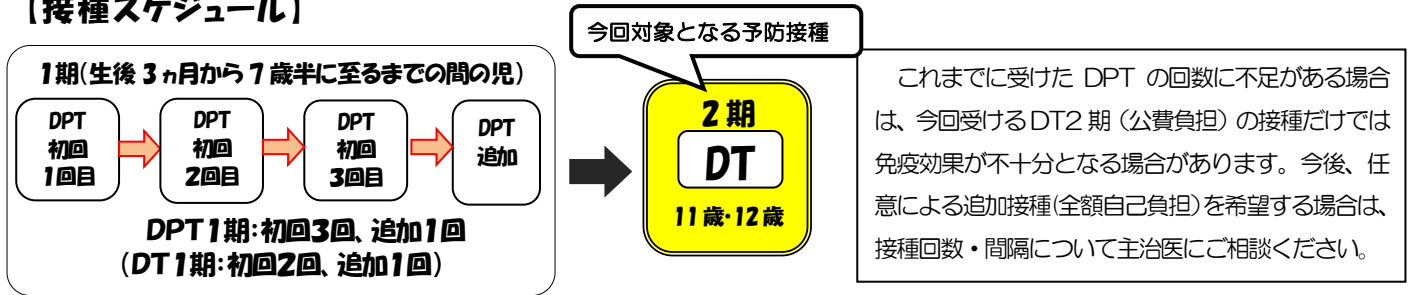


DT予防接種を受けましょう

DT2期予防接種は、ジフテリアおよび破傷風を予防するため、

幼児期に受けたDPT1期(またはDT1期)の追加接種として受ける予防接種です。

【接種スケジュール】



対象者：11歳以上13歳未満の者(13歳の誕生日の前日まで) ※沖縄市に住民登録をしている方
※ジフテリア・破傷風のいずれかにかかった方も、DT予防接種を受けることができます。

接種回数：1回

接種料金：無料(公費負担) ※対象者以外は自己負担となります。

★ジフテリア(D)

ジフテリア菌の飛沫感染で起こる病気です。主にのどや鼻に感染します。2~5日程度の潜伏期を経て、高熱、のどの痛み、嚥下痛(飲み込み時の痛み)などではじまります。鼻ジフテリアでは血液の混ざった鼻汁や鼻孔や上唇のただれなどがみられます。扁桃・咽頭ジフテリアでは、のどに偽膜と呼ばれる膜ができ、頸部リンパ節炎がみられます。喉頭ジフテリアでは、犬が吠えるような咳がみられ、気道にも偽膜ができるため呼吸困難となり、気管支まで偽膜形成が進むと窒息死することもあります。

また、この菌は、ジフテリア毒素を大量に出して神経や心臓の筋肉を侵すため、発病後に心筋炎や神経麻痺を起こし、突然心筋障害で死亡することもあります。

現在、国内での発生は平成11年以降ありません。世界的にもワクチンの普及により患者数は減少していますが、1990年代政権崩壊でワクチン接種率の低下した旧ソ連などでは大流行が起これ、四千人以上の死亡者が出ました。近年は海外からジフテリア菌が持ち込まれるリスクが懸念されています。

★破傷風(T)

破傷風菌は世界中の土壌中に存在する為、常に感染の危険性があります。深い傷だけではなく、土いじり等でできる小さな傷でも起こります。

傷口から侵入した破傷風菌が出す毒素により中枢神経を侵し、けいれんを起こす病気です。3~21日の潜伏期間のあとに、口が開けにくくなり、歯がかみ合わさった状態(開口障害)、顔面筋の緊張・硬直により引きつった顔になるなど局所のけいれん症状からはじまります。続いて全身性のけいれんが起これ、重篤な場合は呼吸筋の麻痺により窒息死することもあります。

この菌は自然感染によって免疫を獲得できないため、予防接種以外に免疫をつける方法はありません。近年の破傷風患者は破傷風の予防接種未接種世代の50代以上が大多数ですが、2期DT未接種の高校生がクラブ活動中のケガで破傷風を発症した事例があります。

部活動や通学中のケガや台風後の片付けなどの日常生活にも感染のリスクがあります!! DT予防接種は医療資源が極端に不足する地震や津波等の災害時への備えになります。



●DT予防接種の副反応

DT予防接種は、DTトキソイドという不活化ワクチンを接種します。

DTトキソイド接種後の副反応としては、注射部位の赤み・はれ・しこり・痛みなどの局所反応が主で、接種回数を重ねるごとに反応が強くなる傾向があります。赤みやはれなどは一過性で数日中に消失しますが、しこりは1~2週間残ることがあります。

注射部位以外の副反応としては、発熱、悪寒、頭痛、倦怠感、下痢、めまい、関節痛などを認めることがありますが、いずれも一過性で数日中に消失します。

重大な副反応として、まれにショック、アナフィラキシー(じんましん、呼吸困難、血管浮腫等)があらわれることがありますので、接種後は観察を十分に行ってください。

●予防接種による健康被害救済制度について

定期予防接種の後に起きた健康被害が、予防接種によるものと国で認定された場合には、予防接種法に基づく補償(医療費、医療手当、障害児養育年金、障害年金、死亡一時金、葬祭料など)を受けることができます。

沖縄市役所 こども相談・健康課 予防係 TEL 939-1212 (内線 2232・2233)

※この説明書の情報は令和2年3月現在のものです。